

2001 年 6 月 21 日

参議院議員選挙

比例代表立候補予定者の回答

目 次

候補者所属政党	ページ
自由民主党	1
民主党	6
公明党	14
日本共産党	20
社会民主党	25
自由党	29
保守党	34

比例代表候補者別回答（自由民主党）

政党名：自由民主党	候補者名：小野清子
-----------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別的手段で進め、原発は減らしていくべき	
○	(2) 地球温暖化対策は別的手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
○	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	
産業経済の維持発展を考えると新しいエネルギーが未開発であれば答えも思い切っただけ出来ないが、ドイツのように思い切った方向転換をすると道が見えてくるものなのか考えさせられます。	

政党名：自由民主党	候補者名：山東昭子
-----------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
○	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別的手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別的手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
○	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
○	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	
アジアの経済はどんどん発展し必ず日本と同じ公害問題にぶつかるだろう。そこで日本はリーダーシップを取って協力すべきである。原発は必要だが建設は難しいと思う。	

比例代表候補者別回答（自由民主党）

政党名：自由民主党	候補者名：有村治子
-----------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	
選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
○	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	
選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
○	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	
選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
○	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	
選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。		
地球環境へ負荷を与えているのは、人間の活動そのものであり、環境保全に配慮したライフスタイルに改めるための国民運動を推進したい。		

政党名：自由民主党	候補者名：小泉顕雄
-----------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	
選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	
選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	
選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	
選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。		
小生は、数年前から「地球村」の会員ですが、環境問題に強い危機意識をもっています。		

比例代表候補者別回答（自由民主党）

政党名：自由民主党		候補者名：高祖憲治	
選択	問 1 京都議定書の日本の批准について		
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき		
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい		
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない		
選択	問 2 地球温暖化防止の国内政策について		
	(1) 国内対策で 6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき		
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の 6%を達成すべき		
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき		
選択	問 3 地球温暖化対策としての原発増設について		
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき		
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき		
○	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき		
選択	問 4 地球温暖化対策税の導入について		
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき		
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき		
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない		
選択	問 5 「自然エネルギー発電促進法案」について		
	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき		
○	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分		
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい		
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。			
問 4：(4) 税導入については、メリット・デメリット等について議論を深め、国民合意を形成する活動を重視すべき。 地球温暖化対策税は、広く国民に係わる税制であるので、国民の理解なくしては円滑に機能しない。現段階では、未だ国民の理解は進んでおらず、幅広い国民議論を進める必要があるため、あえて(4)を付記した。			

政党名：自由民主党		候補者名：桜井新	
選択	問 1 京都議定書の日本の批准について		
	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき		
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい		
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない		
選択	問 2 地球温暖化防止の国内政策について		
	(1) 国内対策で 6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき		
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の 6%を達成すべき		
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき		
選択	問 3 地球温暖化対策としての原発増設について		
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき		
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき		
○	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき		
選択	問 4 地球温暖化対策税の導入について		
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に務めるべき		
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき		
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない		
選択	問 5 「自然エネルギー発電促進法案」について		
	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき		
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分		
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい		
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。			
問 1：まず、米国の参加を働きかけるべきであり、現時点で我が国の批准についてはコメントできない。			
問 2：国内対策を中心として 6 %の削減が達成できるよう対応すべき。			
問 4：効果、対象分野、既存税制との関係を更に検討した上で導入の是非、形態を決定すべき。			

比例代表候補者別回答（自由民主党）

政党名：自由民主党	候補者名：段本幸男
-----------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
○	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
○	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

政党名：自由民主党	候補者名：福島啓史郎
-----------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	
問2：(4) 森林による二酸化炭素の吸収を重視すべき。 問3：(4) 原発については費用対効果を分析しその結果に基づき行うべし。	

比例代表候補者別回答（自由民主党）

政党名：自由民主党	候補者名：藤野公孝
-----------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
○	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
○	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
○	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

政党名：自由民主党	候補者名：森元恒雄
-----------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
○	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。
環境問題を幅広く、深く勉強し、ライフワークの1つとしていきたい。

比例代表候補者別回答（民主党）

政党名：民主党	候補者名：ツルネン マルティ
---------	----------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

政党名：民主党	候補者名：高比良正司
---------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

比例代表候補者別回答（民主党）

政党名：民主党		候補者名：神本みえ子	
---------	--	------------	--

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

政党名：民主党		候補者名：柳沢みつよし	
---------	--	-------------	--

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	
問3 安全確保を前提に	
問5 （回答なし）現時点では不明	

比例代表候補者別回答（民主党）

政党名：民主党	候補者名：片山光代
---------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	
温暖化の原因である二酸化炭素について、排出権取引など市場原理を活用した方法も採用すべき。	

政党名：民主党	候補者名：太田のぶまさ
---------	-------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
○	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

比例代表候補者別回答（民主党）

政党名：民主党	候補者名：高見裕一
---------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

政党名：民主党	候補者名：寺山としお
---------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

比例代表候補者別回答（民主党）

政党名：民主党	候補者名：伊藤基隆
---------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

政党名：民主党	候補者名：朝日俊弘
---------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

比例代表候補者別回答（民主党）

政党名：民主党	候補者名：竹村泰子
---------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

自民党の「エネルギー基本法」を成立させないこと。省庁の公用車の転換などは当たり前で、今話題の道路特定財源であるガソリン税を業務、家庭部門や公共交通などの省エネ政策に使うこと。

政党名：民主党	候補者名：若林秀樹
---------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

問3：(回答なし) 安全性を確保した原発は温暖化対策に有効。ただし20基増設は非現実的。新エネ省エネ技術開発、経済的手法など、総合的手法が重要。

問5：(回答なし) 自然エネルギー普及はきわめて重要。同時に電力自由化、電力業界の構造改革を充分検証しながら進めることが適切。

比例代表候補者別回答（民主党）

政党名：民主党	候補者名：ひぐち恵子
---------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	
全体として温暖化対策のための省エネルギー社会を目指す、公共交通機関のバリアフリー化など、必要なところにはエネルギーをきちんと使ってゆくことが必要	
エネルギー供給が不安定になると、生死にかかわる人も多いので、安定供給の視点をわすれてはならない	

政党名：民主党	候補者名：にしこおり淳
---------	-------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

比例代表候補者別回答（民主党）

政党名：民主党	候補者名：前川忠夫
---------	-----------

選択	問 1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問 2 地球温暖化防止の国内政策について	
	(1) 国内対策で 6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の 6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問 3 地球温暖化対策としての原発増設について	
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問 4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問 5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	
問 4 導入に際しては、しっかりした議論が必要	

比例代表候補者別回答（公明党）

政党名：公明党	候補者名：福本潤一
---------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

政党名：公明党	候補者名：遠山清彦
---------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	
地球温暖化防止、安全なエネルギーの供給のため、原子力や化石燃料に代わるクリーンエネルギーを 2025 年までに 20%に拡大めざす。ごみを燃さないために「ゴミ・ゼロ」の循環型社会をめざし東京をはじめ大都市にエコタウンを構築推進する。	

比例代表候補者別回答（公明党）

政党名：公明党		候補者名：加藤修一	
選択	問1 京都議定書の日本の批准について		
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき		
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい		
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない		
選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について		
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき		
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき		
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき		
選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について		
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき		
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき		
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき		
選択	問4 地球温暖化対策税の導入について		
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき		
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき		
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない		
選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について		
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき		
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分		
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい		
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。			
バイオマスなど自然エネルギー（再生可能エネルギー）に対する展望は、大変期待できるものである。エネルギー政策に対するパラダイムシフト（グリーン化）を行うべきで、将来世代のことを真剣に考え、行動すべきである。また、このようなパラダイムシフトは世界の常識である。改革断行政権に申し入れをしました。内容は 2025 年までにクリーンエネルギー（当然原子力は除く）を 20%にする挑戦的な政策である。			

政党名：公明党		候補者名：山本 かなえ	
選択	問1 京都議定書の日本の批准について		
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき		
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい		
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない		
選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について		
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき		
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき		
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき		
選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について		
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき		
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき		
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき		
選択	問4 地球温暖化対策税の導入について		
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき		
○	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき		
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない		
選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について		
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき		
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分		
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい		
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。			
問3に対し）自然エネルギーの積極的な普及を進め、安易な原発の増設には頼るべきでない。 地球温暖化問題等地球規模問題の解決は、「開発」と「環境保全」という2つのファクターのバランスをどう取るかということに帰結するが、私自身、1992年の地球サミットにおいて謳われた「持続可能な開発」を目指し、具体的な施策を早急に取り組むことが必要だとの見地に立っている。具体的な施策としては、まず国内においては人類の将来にとって地球問題がいかに重要であるかを知らしめる広報・教育を行い、環境影響をスムーズに市場メカニズムの中に取り込むことが急務であると思われる。これからの時代を担う私たち若い世代が、日本だけでなく、国際社会全体に責任を持った行動を取り、環境先進国として、世界をリードする日本を構築していきたい。			

比例代表候補者別回答（公明党）

政党名：公明党	候補者名：石渡 由美子
---------	-------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

政党名：公明党	候補者名：中山 とも子
---------	-------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

比例代表候補者別回答（公明党）

政党名：公明党	候補者名：中川 京子
---------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

政党名：公明党	候補者名：小林 れいこ
---------	-------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

比例代表候補者別回答（公明党）

政党名：公明党		候補者名：常盤津 八重太夫	
---------	--	---------------	--

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

政党名：公明党		候補者名：伊藤 日出夫	
---------	--	-------------	--

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

比例代表候補者別回答（公明党）

政党名：公明党		候補者名：平田 みちのり
選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	
選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	
選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	
選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	
選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。		

比例代表候補者別回答（公明党）

政党名：公明党		候補者名：おおくら由美
選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	
選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	
選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	
選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	
選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。		
問3：現実的には でやむを得ないと思います。		

比例代表候補者別回答（日本共産党）

政党名：日本共産党		候補者名：笠井 亮	
選択	問 1 京都議定書の日本の批准について		
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき		
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい		
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない		
選択	問 2 地球温暖化防止の国内政策について		
○	(1) 国内対策で 6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき		
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の 6%を達成すべき		
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき		
選択	問 3 地球温暖化対策としての原発増設について		
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき		
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき		
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき		
選択	問 4 地球温暖化対策税の導入について		
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき		
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき		
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない		
選択	問 5 「自然エネルギー発電促進法案」について		
	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき		
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分		
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい		
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。			
問 4	ただし主要な排出者である企業の責任と負担の明確化が必要		
問 5	(回答なし) 自然エネルギーで発電した電力を電力会社に買い取らせることを義務化するような法制化が必要		

政党名：日本共産党		候補者名：石井正二	
選択	問1 京都議定書の日本の批准について		
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき		
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい		
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない		
選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について		
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき		
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき		
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき		
選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について		
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき		
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき		
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき		
選択	問4 地球温暖化対策税の導入について		
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき		
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき		
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない		
選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について		
	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき		
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分		
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい		
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。			
問4	大企業の製造、排出責任を問うルールを作り、汚染原因となる物質を製造・使用している企業の責任と負担を明確にした税を創設する。		
問5	(回答なし)中身が分からないので回答できない。しかし法案の中身としてはシゼンエネルギーを促進し、電力会社に買い取りを義務を課すようにしたい。		

比例代表候補者別回答（日本共産党）

政党名：日本共産党	候補者名：紙 智子
-----------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

地球温暖化問題は、人類の生存基盤にかかわるまったなしの問題。温室効果ガス排出産業に対する直接的規制や排出抑制計画の作成、公表の義務化など、大企業の製造責任を厳しく問う環境保全のルールを確立する。

政党名：日本共産党	候補者名：筆坂秀世
-----------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

比例代表候補者別回答（日本共産党）

政党名：日本共産党	候補者名：吉川春子
-----------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

大企業の製造責任、排出責任を厳しく問う環境保全のルール確立。
低エネルギー社会の実現、再生可能エネルギー開発を進めながら、原発からの段階的撤退を目指す。

政党名：日本共産党	候補者名：小林みえ子
-----------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

問4：地球温暖化の原因物質を出している企業に負担させることを明確にする。
問5：シゼンエネルギーで発電した電力を電力会社が義務的に買い取る法案が必要です。

比例代表候補者別回答（日本共産党）

政党名：日本共産党	候補者名：松竹伸幸
-----------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

政党名：日本共産党	候補者名：井上さとし
-----------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について	
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき	
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい	
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない	

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について	
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき	
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき	
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき	

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について	
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき	
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき	
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき	

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について	
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき	
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき	
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない	

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について	
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき	
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分	
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい	

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	
私が比例候補として担当する京都・北陸・新潟には多くの原発があり、さらに新設計画やプルサーマル計画などが目白押しです。どの地域に行ってお話を聞いても、国の原子力対策予算として、公共事業を進める補助金や地元対策の交付金がばらまかれています。一方、新エネルギー対策の予算は原子力対策の4分の1に過ぎません。こうしたやり方を改め、積極的な再生可能エネルギーの利用促進にこそ、向かうべきです。	

比例代表候補者別回答（日本共産党）

政党名：日本共産党		候補者名：仁比そうへい	
選択	問1 京都議定書の日本の批准について		
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき		
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい		
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない		
選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について		
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき		
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき		
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき		
選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について		
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき		
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき		
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき		
選択	問4 地球温暖化対策税の導入について		
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき		
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき		
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない		
選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について		
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき		
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分		
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい		
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。			
地球温暖化対策は、排出者責任と負担を明確にし、大衆課税とならない枠組みにすべきです。また温暖化対策に抵抗している業界をはじめ、企業の献金を禁止することも重要です。			

比例代表候補者別回答（社会民主党）

政党名：社民党	候補者名：大島 義典
---------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

政党名：社民党	候補者名：清水 澄子
---------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

比例代表候補者別回答（社会民主党）

政党名：社民党	候補者名：ふじわら 勝彦
---------	--------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。
日本はEU並みの排出源対策で温暖化対策を進めるべき。 そのほか環境税、自動車関係諸税改正などの対策も必要。

政党名：社民党	候補者名：船橋 邦子
---------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。
初等、中等、高校教育においてより深く充実した環境教育を実施すること。 企業の冷暖房において省エネ対策の規制をもうけるべき。

比例代表候補者別回答（社会民主党）

政党名：社民党		候補者名：大田 昌秀	
選択	問 1 京都議定書の日本の批准について		
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき		
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい		
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない		
選択	問 2 地球温暖化防止の国内政策について		
	(1) 国内対策で 6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき		
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の 6%を達成すべき		
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき		
選択	問 3 地球温暖化対策としての原発増設について		
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき		
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき		
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき		
選択	問 4 地球温暖化対策税の導入について		
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき		
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき		
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない		
選択	問 5 「自然エネルギー発電促進法案」について		
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき		
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分		
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい		
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。			
地球温暖化問題にしても自然エネルギーの導入にしても政府が主体的に、かつ積極的に取り組むべき重要な課題で、もはや遅延は許されません。			

政党名：社民党		候補者名：又市 征治	
選択	問1 京都議定書の日本の批准について		
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき		
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい		
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない		
選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について		
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき		
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき		
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき		
選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について		
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき		
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき		
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき		
選択	問4 地球温暖化対策税の導入について		
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき		
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき		
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない		
選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について		
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき		
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分		
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい		
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。			
企業の社会的責務を常に問う法律の策定により、官民挙げてのチェックと指導が大切。また、先進国における人々の意識の変革が伴わなければならない。儲けより人々の安心・安全な暮らしを優先させる政治体制の確立を進めていきたい。			

比例代表候補者別回答（社会民主党）

政党名：社民党		候補者名：谷本 たかし	
選択	問 1 京都議定書の日本の批准について		
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき		
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい		
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない		
選択	問 2 地球温暖化防止の国内政策について		
○	(1) 国内対策で 6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき		
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の 6%を達成すべき		
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき		
選択	問 3 地球温暖化対策としての原発増設について		
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき		
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき		
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき		
選択	問 4 地球温暖化対策税の導入について		
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき		
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき		
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない		
選択	問 5 「自然エネルギー発電促進法案」について		
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき		
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分		
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい		
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。			
森林、水田が温暖化を防ぎ、生物生存、地球生態系維持に果たしている役割（公益的機能）を経済的に評価し森林、水田の維持に公的支援を行うべきと思う。			

政党名：社民党		候補者名：戸田 二郎	
選択	問 1 京都議定書の日本の批准について		
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき		
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい		
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない		
選択	問 2 地球温暖化防止の国内政策について		
○	(1) 国内対策で 6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき		
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の 6%を達成すべき		
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき		
選択	問 3 地球温暖化対策としての原発増設について		
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき		
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき		
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき		
選択	問 4 地球温暖化対策税の導入について		
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき		
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき		
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない		
選択	問 5 「自然エネルギー発電促進法案」について		
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき		
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分		
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい		
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。			

比例代表候補者別回答（自由党）

政党名：自由党	候補者名：阿曾重樹
---------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

政党名：自由党	候補者名：井脇ノブ子
---------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
○	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。	

比例代表候補者別回答（自由党）

政党名：自由党	候補者名：岡村光芳
---------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
○	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

かけがえのない地球。進行する温暖化対策には待たなし。しかし、一方でIihf-は安定供給せねばならない。民間の活力を活用しつつ、将来を見据えた税をドラスティックに導入し、低廉で安全なIihf-を製造、供給すべき。原子力に頼らなくてももっと優秀で安全な環境にやさしいIihf-は必ずあるはず。研究開発を。

政党名：自由党	候補者名：きもと由孝
---------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
○	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
○	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
○	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

比例代表候補者別回答（自由党）

政党名：自由党		候補者名：古賀敬章	
選択	問1 京都議定書の日本の批准について		
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき		
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい		
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない		
選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について		
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき		
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき		
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき		
選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について		
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき		
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき		
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき		
選択	問4 地球温暖化対策税の導入について		
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき		
○	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき		
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない		
選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について		
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき		
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分		
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい		
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。			

政党名：自由党		候補者名：菅原敏秋	
選択	問1 京都議定書の日本の批准について		
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき		
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい		
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない		
選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について		
	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき		
○	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき		
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき		
選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について		
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき		
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき		
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき		
選択	問4 地球温暖化対策税の導入について		
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき		
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき		
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない		
選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について		
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき		
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分		
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい		
最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。			
問3：(回答なし) 地球温暖化対策及びエネルギー政策を勘案して原発数を決定すべき。 問4：(回答なし) 税制のあり方の見直しの中で経済的手法による環境政策を積極的に検討すべき<(1)&(2)の間に近い>。			

比例代表候補者別回答（自由党）

政党名：自由党	候補者名：西岡武夫
---------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
○	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

政党名：自由党	候補者名：広野ただし
---------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
○	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

比例代表候補者別回答（自由党）

政党名：自由党	候補者名：村本理恵子
---------	------------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
○	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
○	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。

比例代表候補者別回答（保守党）

政党名：保守党	候補者名：三沢 淳
---------	-----------

選択	問1 京都議定書の日本の批准について
○	(1) 議定書を発効に導く国際的リーダーシップを発揮し、日本が率先して批准すべき
	(2) 当面は米国の説得を重視し、日本の批准は様子をみたほうがよい
	(3) 京都議定書は日本の経済にマイナスであり、批准の必要はない

選択	問2 地球温暖化防止の国内政策について
○	(1) 国内対策で6%の温室効果ガスの削減を達成し、6%以上の削減についても積極的に取り組むべき
	(2) 国内対策で削減する割合を大きく増やし、目標の6%を達成すべき
	(3) 6%の目標達成すら難しいのが現状なので、吸収源などの政府の現行政策で達成すべき

選択	問3 地球温暖化対策としての原発増設について
	(1) 放射性廃棄物などの問題があるので、地球温暖化対策は別の手段で進め、原発は減らしていくべき
○	(2) 地球温暖化対策は別の手段で進め、原発に関しては現状のままにとどめるべき
	(3) 地球温暖化対策に原発は必要であり、補助金など立地振興策を講じ、原発増設を進めるべき

選択	問4 地球温暖化対策税の導入について
	(1) 地球温暖化対策税などの方法を積極的に導入して地球温暖化防止に努めるべき
	(2) 税の導入には賛成だが、産業の競争力が落ちると困るので、産業への課税は軽減すべき
○	(3) 今の施策で充分なので、税の導入は必要ない

選択	問5 「自然エネルギー発電促進法案」について
	(1) 普及が確実な「自然エネルギー発電促進法案」の成立を早期に実現すべき
○	(2) 不確実性はあるが、上限を設けて上限の枠内で競争させることを定める施策で充分
	(3) 民間の努力に任せるなど、今までの施策のままでよい

最後に、地球温暖化問題・エネルギー政策に対するご意見・ご提案がございましたらお書きください。
先進国だけの議論は不十分。世界規模で議論ができる土壌づくりが大切。